

今月の人

「新たな10の取組み」への取組み！

港湾空港課総括課長
村井 研二



花巻空港の利用促進業務を当課で担当して1年が経とうとしています。

これまで地域振興部が担当して利用促進に努めてきましたが、経済情勢等、種々の悪条件が重なり、平成9年度には約55万人の利用者が15年度では48万人以下に落ち込んでいます。

当課での需要予測では平成17年度で約56万人の潜在需要を見込んでおり、しかも所管替えにあたって「目に見える成果を出せ」と複数の方々から気合！をかけられています。従来の利用促進策だけではこれまでの状況を転換できませんから、新しい対策を考え、行動しなければなりません。

そこで、当課の業務方針に「17年度に利用者56万人を達成しよう！」と掲げ、「アクションプラン」の策定・実行に取り組むこととしました。

さらに、従来の利用促進策は、担当者の発想と企画による施策を事務局の内部決済で決定してきましたが、今回はその方法を変えました。

部内掲示板による意見募集や、盛岡市内の航空会社、旅行代理店の社員、盛岡商工会議所、花巻市内の空港関係者など、多くの方々からご意見をいただき、166項目の課題を見つけました。

これを分類整理したうえで、前述の空港関係者による、いわば「花巻空港クロスファンクショナルチ

ーム(CFT)」で検討を重ねて解決策を提案していただき、次いで、当課の港湾担当も含む主査以上全員による「ワークアウト」を行い、法規制の有無、予算、他部門との連携の要否等の面から実効性を確認し、解決策の絞込みを行いました。

その結果を、利用促進協議会幹事に諮って決定し、実行しているのが、「空港利用促進のための新たな10の取組み」というわけです。

不慣れなこともあり、業務方針決定から「10の取組み」の策定まで約半年の時間はかかりましたが、関係者の共通理解が深まり、当課でも空港担当全員で分担して取り組むようになりました。

現在、ターミナルビル会社が独自の「10の取組み」を策定して「空弁」の開発等のサービス向上に取り組んでいます。また、全国に空港の愛称等を募集したところ、41都道府県から2,138通の応募をいただき、4月からは県民を対象にして海外旅行促進キャンペーンも開始するなど、CFTのメンバーが参画して多くの具体的な活動が展開し、されようとしています。

本県でもユニバーサルデザインによる施設整備が始まろうとしています。先進地ではさらに進化して「ユニバーサルな社会」の実現に向けた取組みが動き始めています。住民参画を自治の基本とする条例を定める市町村も出始めました。

このような新しい取組みのキーワードは、「当事者の参画」です。

住民、企業、NPO、市町村や県の職員、設計者、施工者等、障害のある人もない人も、老若男女できるだけ多くの当事者が対等なパートナーとして参画し、みんなで調査し、計画し、実行し、検証していく「協働」が望まれています。

道づくり、川づくり、まちづくりなど、私たちの職場のできるだけ多くの場面で、そのような取組みが進められればいいですね。

3月の主な行事予定

● 生出地区道路計画説明会

- 期日 3月6日(日)
- 時間 15時～16時
- 場所 東山町
- 担当 千厩地方振興局土木部

● 盛川ヨシ焼き

- 期日 3月6日(日)
- 時間 7時30分～12時
- 場所 盛川河川敷
- 担当 大船渡地方振興局土木部

● 国道284号黒沢橋開通式

- 期日 3月16日(水)
- 時間 11時～12時
- 場所 一関市
- 担当 一関地方振興局土木部

● 三陸縦貫自動車道「大船渡三陸道路」開通式

- 期日 3月19日(土)
- 時間 10時～13時
- 場所 大船渡市
- 担当 道路建設課

● 花巻空港2,500m滑走路供用開始式

- 期日 3月23日(水)
- 時間 15時～17時
- 場所 花巻空港
- 担当 港湾空港課

● アテルイの里デザイン会議

- 期日 3月23日(水)
- 時間 13時～15時30分
- 場所 水沢分庁舎大会議室
- 担当 水沢地方振興局土木部

● (主)一関大東線前堀工区及び市道竹山東工業団地線開通式

- 期日 3月25日(金)
- 時間 10時～13時30分
- 場所 一関市
- 担当 道路建設課

● 美しい県土づくり！県土整備部政策課題研究会発表会

- 期日 3月25日(金)
- 時間 10時30分～17時
- 場所 盛岡市総合福祉センター
- 担当 県土整備企画室

● 美しい景観いわてシンポジウム

- 期日 3月29日(火)
- 時間 13時30分～17時00分
- 場所 盛岡市民文化ホール
- 担当 都市計画課